

たんぽぽ



速報です。!!!

祝「中学生の主張 in かながわ」で北里学級 OG の鳥越さんがみごと奨励賞を受賞しました。



後列左から4番目です

令和元年9月に開催された「中学生の主張 in かながわ」に応募した1307人の中からみごと鳥越彩音さん(湘南白百合学園中学校3年)の主張が奨励賞(10名)に選ばれました。題名は「学校以外の勉強の場」です。北里大学病院で治療を受けながら過ごした北里学級と仲間のことが書かれています。鳥越さんが一番言いたかったことは『自分を救ってくれた院内学級を全国的に普及させたい。その為に自分のできることは、経験者として勉強のことを不安に思っている子供たちの声を届けること。院内学級の必要性を多くの人々へ伝えることです。』だそうです。主張原稿

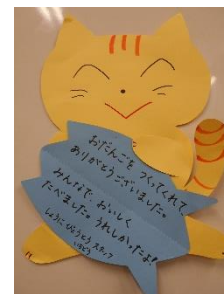
の全文は11月頃に神奈川県青少年センターのホームページに掲載される予定です。鳥越さんおめでとう。北里学級の仲間にもぜひ紹介したいと思います。また、同じ時期に入院していた仲間にも「たんぽぽ10月号」を送って伝えたいと思います。小児病棟もドクター、看護師長さんをはじめ皆々が受賞の話聞いてたいへん喜んでます。すごいですね。

北里学級はこんなところ



恒例のお月見団子づくり
いろいろな所へプレゼント
しました。

先日、退院した中学3年生が北里学級の後輩たちにメッセージを書いてプレゼントしてくれました。北里学級はね・・・
たのしい所。笑顔のテーマパークみたいな所。想像力が増える所。病院でのもう一つの居場所。勉強以外にもいろんな経験ができる所。ひとりじゃない場所。ひとりでもひとりじゃない場所。友達がたくさんできる所。
普通の学校と何かが違う所。自分自身が変われるところ。本当の自分が見つけられて、それを存分に出せる所。



小児病棟からのお礼

中学部の生徒が小学部の児童に出前授業をしてくれました。



ある日の学級での様子を紹介します。この日は友達が退院したり、治療だったりして中学部の教室に中学生が一人。小学部の教室も小学生が一人。中学生は今日は数学の高校の受験勉強をする予定でしたが、算数が苦手、なかなか勉強のエンジンが掛からない小学生に「じゃあ私が教えてあげる」と分数の授業をしてくれました。この中学生、実は将来先生になりたいそうです。夢がかなうといいですね。がんばれ!!